##	議 責 16 高齢者・建がいるの自立促進と社会参加 所級率 高齢者を接端 担当者名 米理 伸に 表生手文 13 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事務事業名	ふれあい館	2維持管理事	業		□ ₹	=フェスト ]連	□ 全庁村 □ 課題関		□ 集中改革 プラン関連	
株系 基本事業 41 高齢者の社会参加の促進 1245年 125年 125年 125年 125年 125年 125年 125年 12	本本本章   4   高齢者の好き舎動の役差	総合 政 策	4 みん	な元気で笑顔	[あふれるま	ちづくり	所属	属部 健康者	畐祉部	課長名	内田 秀一郎	3
子童科目	京田   日本   日本   京美味恵、   次金   全由作保証申比セッター入みもい条件   20   20   20   20   20   20   20   2		16 高齢	者・障がい者	が自立促進	と社会参加	所属	高齢者	<b>對支援課</b>	担当者名	米澤 伸仁	
### 1 3 6 1 0422	(国際政権を対象性   18	体系 基本事業	47 高齢	者の社会参加	1の促進			• /		(内線)	2143	
★ 平	日本学の学校   日本的な作性   日本のであり、   日本ので	予算科目				法令 合意 根拠 同族	5市保健福祉· 6行規則 指:	センターふれ 定管理協定書	.あい館条例・			)
★事務事業の歴要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数中度事業社全体像を記述) □事業の自認 □事業の情報 □事業の事業 □事業の情報 □ 「世界である。」 □ 「世界である。」 □ 「世界である。」 □ 「世界である。」 □ 「世界である。」 □ 「日本である。」 □ 「日本ではある。」 □ 「日本ではなる。」 □ 「日本ではないます。	李楽の概要(見体的なやり方、手順、詳細、期間限で複数中度事業社全体機を記述)	終了、開始年度			□ 22年度から	う開始 事業	<b>⊭期間</b> □単4				18 年	
平東の門容	②内容			-L 2- 2- 10 -L-	<b>- 7 III = 3/4/</b>	/m #n====	+++××, +-+					<i>5</i> 27
法の表により、平成18年9月から指定管理者的度による管理運営に移行している。現在、第2期(fi2.10~fi2.4.3) (管理期間であり、24年度以降できた。 (1.4.4.3) (日本の土地の管理運営を指定管理者(信本市社会福祉協会)。 (1.4.4.3) (日本の土地の管理運営を指定管理者(信本市社会福祉協会)。 (1.4.4.3) (日本の土地の管理運営・指定管理者)(日本市社会福祉協会)。 (1.4.4.3) (日本の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の土地の	法の改正により、平成19年9月から指途管理者制度による管理者に参行している。現在、第2期(121.10~124.3)の特定です。									د ا + ماد × ا	<u> </u>	5.75
留地川市であり、24年長以降の指定の手続きが必要となる。   今年度の力定管理場を対していて年度は定を締結する。	を展示した信息	【争業の内谷】	0平成14年   法の改正に	0月、市氏の18 より、平成18	建康維持及い 3年9月から指	増進に劣め、 定管理者制度	健康で明るい による管理	↑仕みよいま 軍営に移行し	らつくりのにで ている。現在、	め、ふれめい 第2期(H21	・貼か開朗。 地力 E 10~H24.3)の‡	3万 治定
***	- 各年度の指定管理科及び支払方法について年度協定を締結する。		管理期間で	あり、24年度	以降の指定の	)手続きが必	要となる。				,	
・ モニタリング(月次の業務報告書、年度の事業報告書、アンケート調査等を受け、管理選官状況の確認)を行う。	モニクリング (月次の景勢報告書、年度の事業報告書、アレー・誘連等を受け、管理選索状況の確認)を行う。   ・モニクリング (月次の景勢報告書、年度の事業 経費)   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10.4.1.							0 0			
工作   日本年度   〇年度 地交の機能(月)	・中国物籍組9/12の月を超えたとき、指定管理者と異用見回協議を行い、の方具性する特種と行う。 の流丸】 (日本音)(日本日本) (日本日本) (日本日本) (日本日本日本) (日本日本日本) (日本日本日本) (日本日本日本) (日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本		・モニタリ	ング(月次の	業務報告書、	年度の事業	報告書、アン	ケート調査等	を受け、管理	運営状況の研	権認)を行う。	
□ 日本の学生 1 回車方法・募集方法・指定期間の決定(改業推進本部・議会全協設明) ○指定管理者の募集(募集要 1 記事の前年度) ○選定委員会の開催(選考書意、候補者決定) ○議会への提案 ○ 6 記章管理者の指標	(日本政治学院) 日本政治 (日本政治学院) 日本政治 (日本政治学院) 日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) 日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治		・年間修繕 	額か12万円を	超えたとき、	指定管理者。	と費用負担の	協議を行い、	市が負担する	修繕を行う。		
□ 日本の学生 1 回車方法・募集方法・指定期間の決定(改業推進本部・議会全協設明) ○指定管理者の募集(募集要 1 記事の前年度) ○選定委員会の開催(選考書意、候補者決定) ○議会への提案 ○ 6 記章管理者の指標	(日本政治学院) 日本政治 (日本政治学院) 日本政治 (日本政治学院) 日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) 日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治学院) (日本政治学院) 日本政治学院 (日本政治学院) (日本政治	【業務の流れ】	【毎年度】(	つ年度協定の紹	· 結(4月) (	 Ωモニタリン <sup>,</sup>	グの実施(月2	欠報告の確認領	等) <b>〇</b> 年間額	12万円を招え	たときの修繕の実	施
・配布、募長説明会・申請書書会   ○選定委員会の開催 (選寿書会、模補者決定)   ○届業令への提案   ○日報会への提案   ○日報会への提案   ○日報会への提案   ○日報会   ○日報会会   ○日報会   ○日報会会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会   ○日報会	- RATE 3年 28 29 分	NO 177 -> MINA O	〇指定管理料	料の支払(四半	<del>'</del> 期毎)							
(直見や要望			・配布、募集	集説明会、申請								
【意見や要望】 特になし 関係者住民、議会 事業対象者、利容間 (DO、PLAN) (1) 事務事業の目的と指標 (DO、PLAN) (1) 事務事業の目的と指標 (DO、PLAN) (1) 事務事業の目的と指標 (DA、 (日本報告の確認等) (D4度 (日本活動) (2) (日本報告の確認等) (日本度 (日本で) (2) (日本で) (2) (日本で) (日本	特になし   特になし   特になし   特になし   特になし   特にない	【主か予管弗日】			(維書) 禾台	f料 (指字管)	田本汀/					
関係者に出、海舎 事業対象者、利害関 保着等からどんな 意見や要型が寄せ の子の性の上物様 の子には対する場合であり、20年度実績(22年度に行った主な活動) (00) の子段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (00) の子段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (00) の子段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (00) の子段(主な活動) 22年度 表すを表すが、 (01) (125年度と同様 (123年度は野が前年度であるから) (02年度大会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)変更会会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)変更会会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)を要員会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)を要員会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)を要員会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)を要員会の開催 の提案 (01)定管理者の募集 (02)を要員会の開催 の指案 (02)対象(22)に「の本験にしているのか) *人や自然資源等 市民 (利用者数 (22)対象(23)に「日本の主な増減の理由 の定域(20)が表が提供が多の大きさを表す指標) (7)・利用者数 (23)は実持標(23回の達成度を表す指標) (7)・制用者数 (23)は実持標(23回の達成度を表す指標) (7)・施設・サービス等について満足と答えた割合 ・*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え(100%に設定した。 (2) 各指標・総事業費	投入	【工は「弁貝口】		₩6 및 <sup>-</sup> 心改修	响。良/、安门 	 □↑↑ (1日化官)	<b>エイイ</b> /					
# 業 対 条 利 等 間 係 音	表 利用剤 からどんを 短型が寄せ へるか?    一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一		特になし									
(県名等)からどんな 意見や要型が寄せ られているか?  1 現状把握の部 (DO、PLAN) (1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (00) ○ 年度協定の締結 のモニタリングの実施 (月次報告の確認等)	### 20 日的と指標	D-477 III (IIII)										
### 224年度   1 現状把握の部 (DO、PLAN)	大学業の目的と情報											
1 現状把握の部 (DO、PLAN) (1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 22年度に対象との事業に (月次報告の確認等) 額12万円を超える修繕の実施 (月次報告の確認等) 額12万円を超える修繕の実施 (月次報告の確認等) 額12万円を超える修繕の実施 (月次報告の確認等) の提案 (内指定管理者の事業 ()過定委員会の開催 の提案 ()指定管理者の指定 ()過度 ()過度 ()過度 ()過度 ()過度 ()過度 ()過度 ()過度	接手楽の目的と指標	意見や要望が寄せ										
(1) 事務事業の目的と指標 ①手段に全な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)  ○年度協定の締結 ○モニタリングの実施(月次報告の確認等) 額12万円を超える修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎)  ○年間 経験に重要を表す指標)	手楽の目的と指標											
①手段(主な活動) 22年度実績 (22年度に行った主な活動) (DO)	(主 左注論) 22年度 天線(22年度   日本			PLAN)			l look to	11 1				
□ 日東協定の締結 ○モニタリングの実施 (月次報告の確認等) 日本 (四半期毎) 日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本 (日本	協定の締結 〇モニタリングの実施 (月次報告の確認等) 旧を超える修練の実施 〇相定管理料の支払 (四半期毎) 「独立の情報であるから] 〇管理方法・募集方法・指定 明間の決定 〇指定管理者の募集 ○選定委員会の開催 ○議会へ			<b>事(00年度)*</b>	ニーキートア	卦) (DO)			在17月1日 一	1、アナルケゴ	\$4.) (DI ANI)	
額12万円を超える修繕の実施 〇指定管理料の支払 (四半期毎)	日を超える修繕の実施								要に計画して	いる土な活動	切)(PLAN)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位) 子草の主な増減の理由	が は	額12万円を超える	修繕の実施	ファッス 大阪 〇指定管理料	料の支払(四	唯配寺) 半期毎)			前年度であるが	から】〇管理	方法・募集方法・	・指定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 「単位	計算標   手形手業の活動量を表す指標											義会へ
→ 了 保健福祉センター施設補修箇所数   箇所 指定管理委託料の減	保健福祉センター施設補修箇所数 : 箇所 : 指定管理委託料の減 施設等修理金額 : 千円 (						の7定月	2 0相足官	生日の相足(	ノ 本本 励 たの	TFDX * 市市市口	
子内   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	施設等修理金額 (注: 何を対象にしているのか) *人や自然資源等 利用者) (この事業によって、対象をどう変えるのか) の 次果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) かく安全に利用してもらう。 (この事業によって、対象をどう変えるのか) の 次と実持標(意図の達成度を表す指標) (単位) なく安全に利用してもらう。 (注意・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。 (活動指標 アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。 (活動指標 ア 箇所 2 1 2 21年度 22年度 23年度 月曜(当初予算) 予定 見込 15動指標 ア 箇所 2 1 2 21 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	① 活動指標(事務	8事業の活動	<b>動量を表す指</b>	票)		(単位) 予算の	の主な増減の	理由			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民 (利用者)  ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 不都合なく安全に利用してもらう。  *③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  ②各指標・総事業費 単位 20年度 実績(決算) 実績(決算) 目標(当初予算) 予定 見込 でが推移  ① 活動指標 ア 協所 2 1 2 21 2 0 0 0 イ 千円 300 324 300 1,309 300 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒ ア 保健福祉も	ンター施設	:補修箇所数				管理委託料の源	咸			
市民 (利用者)	利用者)	!!!										
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 不都合なく安全に利用してもらう。  *③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 目標(当初予算) 予定 見込 ① 活動指標 ア 協所 2 1 2 21 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象にしてい	いるのか) *	人や自然資	源等	②対 (2)	象指標(対象の	の大きさを表	す指標)		
不都合なく安全に利用してもらう。  → ア 施設・サービス等について満足と答えた割合  *③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 天定 見込  ① 活動指標 ア 協所 実績(決算) 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000  ② 対象指標 ア へ 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000 総トータ  ② 対象指標 ア へ 0 0 100 0 100 100 100 100 100 100 100	なく安全に利用してもらう。	<b>巾氏</b> (利用者)					$\Rightarrow \frac{\gamma}{\gamma}$	利用百剱				<u>^</u>
不都合なく安全に利用してもらう。  → ア 施設・サービス等について満足と答えた割合  *③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 天定 見込  ① 活動指標 ア 協所 実績(決算) 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000  ② 対象指標 ア へ 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000 総トータ  ② 対象指標 ア へ 0 0 100 0 100 100 100 100 100 100 100	なく安全に利用してもらう。	③音図(この重要	によって :	対象をどうか	(えるのか)		(3成 <sup>1</sup>	早指煙(音図/	の達成度を実	す指煙)	· <u>'</u> ,	(単位)
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費 単位 20年度 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 予定 見込  ① 活動指標 ア ム 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000  ② 対象指標 ア ム 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000  ② 対象指標 ア 分 0 0 100 0 100 100 100 100 100 100 100	果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。    編・総事業費   単位   20年度   21年度   22年度   23年度   23年度   24年度   25年度   25年度   25年度   25年度   24年度   25年度   25年				. ~ (3 () (A-)							
利用者アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費	アンケート (施設・サービスに対する満足度) の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 利用者に満足していただきたいと考え 100%に設定した。    20年度			- • •			⇒ ´- 1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。  (2) 各指標・総事業費	利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。											
(2) 各指標・総事業費の推移     単位 20年度 実績(決算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 予定 見込       ① 活動指標 ア 箇所 2 1 2 21 2 0 0 0 0 2 対象指標 ア 人 105,600 104,218 104,218 58,520 58,520 58,000 58,000       ② 対象指標 ア % 0 0 0 100 0 100 100 100 100 100 100 1	様様・総事業費   単位   20年度   21年度   22年度   22年度   23年度   23年度   7元	利用者アンケート	(施設・サー	-ビスに対する	る満足度)の	結果は、意図	]の達成度を碁	も し も も も も も も も も も も も も も も も も も も	て適している。			
の推移     単位     20年度 実績(決算)     21年度 実績(決算)     22年度 実績(決算)     23年度 目標(当初予算)     24年度 予定     25年度 見込       ① 活動指標     ア 箇所 イ 千円     2 1 2 21 2 0 0 0 300 324 300 1,309 300 0 0 0     0 0 0     0 0 0     0 0 0 0     58,000 58	単位   実績(決算)	エ ( の利用有に満 	たしていた7. 	こさにいと考え	~100%10高数测	EU/Co						
の推移     単位     20年度 実績(決算)     21年度 実績(決算)     22年度 実績(決算)     23年度 目標(当初予算)     24年度 予定     25年度 見込       ① 活動指標     ア 箇所 イ 千円     2 1 2 21 2 0 0 0 300 324 300 1,309 300 0 0 0     0 0 0     0 0 0     0 0 0 0     58,000 58	単位   実績(決算)	(2) 各指標·総事業		20年中	91年座	99年度	99年座	99年座	94年由	25年 庄		
① 活動指標     ア 箇所 2 1 2 21 2 0 0 0 0 7 子円 300 324 300 1,309 300 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	活動指標			実績(決算)								
7	イ   十円   300   324   300   1,309   300   0   0   0   0   0   0   105,600   104,218   104,218   58,520   58,520   58,000   58,000   総トータルコスト 全体計画	<ol> <li>活動指煙</li> </ol>		<b>↓</b>	1	<del>-</del> -			<u>-</u>			
② 対象指標     イ       ③ 成果指標     ア %     0     0     100     100     100     100       国庫支出金     千円       財 都道府県支出金     千円       内     その他     千円       財間限定	対象指標 イ								·	-		
③ 成果指標     ア%     0     0     100     100     100     100       国庫支出金     千円       財都道府県支出金     千円       海     地方債     千円       内     その他     千円       投業     繰入金     千円	成果指標 ア% 0 0 100 100 100 100 100 100 100 100 10	② 対象指標		105, 600	104, 218	104, 218	58, 520	58, 520	58, 000	58, 000	40.	
③ 成果指標     イ         国庫支出金     千円       財都道府県支出金     千円       源     地方債       八     その他       千円     期間限       次     業       千円     次	大田庫支出金 千円   1   1   1   1   1   1   1   1   1				^	100	^	100	100	100		
財     都道府県支出金     千円     (知期間限       次     その他     千円     (別期間限       投業     業     千円     (別期間限	国庫支出金 千円	③ 成果指標	/ %	}	0	100		100	100	100		1.
財     都道府県支出金     千円       事内     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新道府県支出金 千円	国庫支	出金 千円									
内	大 その他 千円		支出金 千円	1								/
内 その他 千円   間 限 定   1 に	(A) 事業費計 千円     22,523     25,004     29,259     29,944     26,340     26,500     26,500       (A) のうち指定経費 千円     0     0     0     0     0     0     0       (A)のうち時度外、特財 千円     0     0     0     0     0     0     0       正規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間     時間     174     289     289     289     289     289     289     289	事源地方	債 千円	]							期	/
投業   一	(A) 事業費計 千円     22,523     25,004     29,259     29,944     26,340     26,500     26,500       (A) のうち指定経費 千円     0     0     0     0     0     0     0       (A)のうち時間外、特數 千円     0     0     0     0     0     0     0       正規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間     時間     174     289     289     289     289     289     289     289	C ->		<u> </u>					<u> </u>		限	/
	(A) 事業費計 千円     22,523     25,004     29,259     29,944     26,340     26,500     26,500       (A) のうち指定経費 千円     0     0     0     0     0     0     0       (A)のうち時間外、特數 千円     0     0     0     0     0     0     0       正規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間     時間     174     289     289     289     289     289     289     289			<u> </u>							定 /	/
一般財源 十円 22,523 25,004 29,259 29,944 26,340 26,500 26,500 復 27,004 29,259 29,944 26,340 26,500 26,500	(A)のうち指定経費 千円     0     0     0     0     0     0     0       (A)のうち時間外、特別 千円     0     0     0     0     0     0     0       E規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間     時間     174     289     289     290     289     289     289     289										後   数	
入費 (A) 事業費計 千円 22,523 25,004 29,259 29,944 26,340 26,500 26,500 数年	(A)のうち時間外、特累 千円     0     0     0     0     0     0       正規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間     時間     174     289     289     290     289     289     289     289						,				華 /	
	E規職員従事人数 人     3     4     4     3     4     4     4       延べ業務時間 時間 174 289 289 290 289 289 289 289     289 289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 289     289 28     289 28     289 28     289 28     289 28     289 28						_			-		
量 (4)のうち時間外、特別 十円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	延べ業務時間 時間 174 289 289 290 289 289 289 載 /	<b>事</b>			_		_			•	み /	
大		' '			]				l	:	記 /	
		-11-									戦 /	
	タルコスト(A) + (B) 千円 23, 219 26, 154 30, 409 31, 138 27, 530 27, 690 27, 690 0	頁   (B) \ 1年2	計 1千四	nyn	1 1300							

2 評価の部 (SEE)

	*原則は22年度の事後評価、たた	し復数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価
	①22年度目標達成度評価	□達成した □達成しなかった ⇒【原因 □ 利用者アンケートの回答がなかった。
目標達式	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?	
成度	②23年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由】□□□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
評価		ふれあい館は、事業による利用者が約8割を占めており、事業アンケートでは特に施設に 対する不満の意見等はない。
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?	
	③成果の向上余地	☑向上余地がある ⇒【理由】 □ □向上余地がない ⇒ 【理由 □
	% ケ 度 (199) - こ の 東 牧 市 米 の 幸 田 ナ 白 し さ ひこ	指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、利用者の満足度を上げる よことができる。
<del></del>	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	修繕負担協議額を引上げることにより迅速な対応ができ、利用者の満足度をあげることができる。
有効性評	<ul><li>④類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	□他に手段がある〜 (具体的な手段、事務事業) ☑他に手段がない ⇒ 【理由 〜 □統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】〜 □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】〜 □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】〜
価	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	ふれあい館には指定管理者(社協事務局)が入居しており、施設管理業務以外の多岐に わたる福祉に関する業務の遂行を考えると、現状での指定管理者制度による管理運営以 外に手段がない。
	⑤事業費の削減余地	☑削減余地がある ⇒【理由】 □削減余地がない ⇒【理由 □
効率は	成果を下げずに事業費を削減できないか? (f 様や工法の適正化、住民の協力など)	指定管理者が委託する業務の統合・縮減、内容・仕様・工法の適正化(見直し)により、また、利用者のエコ意識を高める取組みなどによって光熱水費を縮減すること等により、指定管理料の削減が図られる。修繕費の限度額を引上げることにより市負担の修繕費を削減できる。
性評	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒【理由】□ □削減余地がない ⇒【理由 □
価	ボ・坦 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできな か? (アウトソーシングなど)	指定管理者を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。  -  -
公	⑦受益機会・費用負担の適正化余	□見直し余地がある ⇒【理由】5 □公平・公正である ⇒【理由 5
平	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 <sup>3</sup>	,市民が利用する公共施設であり、公平・公正である。
性評価	事業の内容が一部の交益者に偏っていて不公。 ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	
役割	⑧行政の役割分担の適正化	□見直し余地がある ⇒【理由】 □ ②役割分担は適正である ⇒ 【理由】 □
割分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団が に移行できないか?	指定管理者制度により管理運営している施設である。

評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

施設の設置目的に沿った運営がなされ、良好な運営状況である。 利用者調査(アンケート)は実施されていますが、回答を得ることができていない。アンケートの方法に工夫が必要である

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1)	今後の事業の方向性	(改革改善案)	•	٠	٠	複数選択可
-----	-----------	---------	---	---	---	-------

□休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □廃止 ☑事業のやり方改善(有効性改善) ☑事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善)

□現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

修繕負担協議額(現行12万円)の引き上げを行う。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

```	·	コスト					
	1	削減	維持	増加			
	向上	0					
成 里	維持						
	低下						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁) とその解決策

指定管理料の増額とならないよう適正な額の見極めが必要である。